

JA秋田厚生連・平鹿総合病院

Hiraka General Hospital

平鹿総合病院の理念「四つの柱」



より高度な臨床
より深い研究
より広い教育
より積極的な保健活動

地域医療連携室 だより

Community Healthy Network News



CONTENTS

- 総長・院長あいさつ……………2
- 連携室長あいさつ……………3
- 診療部長紹介……………3
- スタッフ紹介……………3
- 紹介患者様受付場所……………3
- 新病院での取組み……………4

病院住所／〒013-0042 横手市前郷字ハツ口3番1
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200

[地域医療連携室連絡先]

- 地域医療連携室
TEL／FAX 0182-32-0698
- 紹介患者様受付
TEL／FAX 0182-32-0649

「地域医療連携室だより」発刊のごあいさつ



平鹿総合病院
総長
林 雅人

今年は雪が少なく、梅雨もはっきりしない日が続きましたが、夏の水不足に一抹の不安は残っております。

さて平鹿総合病院でも遅ればせながら『連携室だより』を発刊することになりました。新病院への移転で連携室も少しずつ整ってきましたので、地域の先生達に出来るだけ多くの役に立つ情報を出したいと考えております。

当院も9月1日から入院を7対1看護にするよう申請しました。地域の先生達から紹介していただき、より高度な医療を実現すべくスタッフを増員しましたので、一緒に診察していただける先生は是非その旨話していただければ幸いです。

連携室の仕事は先生達からスムーズな紹介の受け入れと、退院後の行き先の確保が重要な業務なので、何でもお気付きのことがありましたら連絡していただければ幸いです。

以前から病診連携、病病連携は現代医療のキーワードでしたが、これからの医療はもっともそれが重要になると思っております。

そのため今後とも更に努力致しますので宜しくお願い致します。

新病院移転を機に新しい「地域医療連携室」が出発



平鹿総合病院
院長
大久保 俊治

まずは、新病院移転につきまして関係の皆様方に多大なる御協力、ご配慮をいただきましたことに感謝申し上げます。

新病院での取り組みの一つとして、「地域医療連携室」の体制を本格化していく方針とし、人員配置、役割の明確化、部屋と備品の充実に努めました。

その一つとして、「連携室だより」を発刊することになりました。これまで不十分であったこの方面の遅れを取り戻すべく関係者が意気込んでおります。

ますます厳しい医療環境にありますが、「連携室だより」を通じて関係病院、関係診療所とのより良い意志の疎通が出来ますことを願っております。

共同利用病床制に関しましても、多くの先生方の賛同を得て、出発し始めました。さらに拡大することを念じております。

これからの平鹿総合病院に対するご意見等、地域連携室を通じてお寄せいただければ幸いです。

今後も宜しくお願い申し上げます。

新病院の連携室から



地域医療連携室長
荻原 忠

豊作を予感させる好天が続いております。

新病院が横手駅西の田園地帯に建設されたので、朝夕の通勤や勤務中の外出の際にいつも田んぼの中を通ります。季節感あふれる職場です。新病院の地域医療連携室は玄関ホール右手の受付カウンターを回って右手に進み、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションの次の場所にあります。医事課、医療相談室とも近接し、連携しやすくなりました。

新病院ではスタッフ2名が常勤体制となり、人員体制が強化されました。午前中は紹介患者受付に立ち、紹介患者さんの受付、ご案内等フル稼働です。新病院になってから紹介件数が増えましたので、午後連絡に走ったり紹介元医療機関への返事の発送、データ整理等しているうちに過ぎていく日々ですが、張り切って仕事に取り組んでいます。

新病院が機能を発揮して、地域で役に立つ仕事をしていくために、地域の医療機関の皆様と強く連携していくことが重要であることは言うまでもありません。病院の仕事の状況をなるべく多く発信して、「顔が見える関係」を実現していきたいと考えております。今回は、遅ればせながら、新病院での体制の変更と新しく取り組んでいる事業についてご紹介いたします。不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけしていることもあろうかと思っておりますので、お気づきの点はどんどん指摘していただきたく、お願いいたします。

今後ともよろしく、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

診療部長紹介



木村 啓二
(第2内科)



荻原 忠
(第2内科)



関口 展代
(第2内科)



相田 弘秋
(心臓血管外科)



中島 芳道
(外科)



齋藤 研
(外科)



米谷 元裕
(脳神経外科)



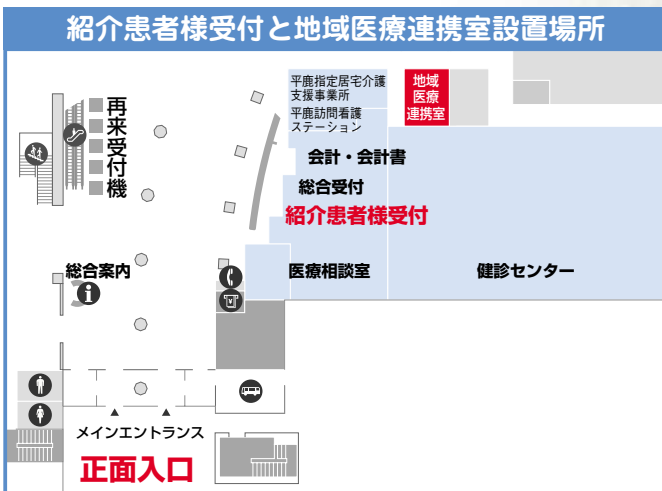
佐藤 一成
(泌尿器科)



佐藤 正光
(麻酔科)



齋藤 昌宏
(病理診断科)



スタッフ

- 室長 荻原 忠
- 副室長 米谷 元裕
- 事務次長 熊地 宣和
- 看護師長 高嶋 妃路子
- 事務 大沢 貞子

スタッフ一同心を込めて対応いたしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

新病院では、以下のことに取組んでいます。

患者様のニーズに合った医療や看護を提供させて頂いています。

特色のある医療体制

- 救急センターとして機能しております。
- ヘリポートを設置しております。
- AED実施訓練の継続強化をしております。
(院内10ヶ所に設置)
- 乳腺科を新設しました。
- 災害拠点病院として機能しております。
- エイズ拠点病院として機能しております。

- 4階「もり」病棟の産科では、地域周産期センターが開設された秋田赤十字病院総合周産期母子センターや、秋田大学産婦人科と連携して周産期管理を行っています。そしてLDRの病床（3床）を持ち、安心して快適な分娩ができます。
- 4階「はな」病棟の小児科ではNICUを3床準備して、未熟児・乳児の生命維持管理に努めております。



リハビリテーションセンター

地域療育医療として、県南全域を対象に、現在20名以上の障害児のリハビリテーションに力を入れております。



日曜夜間 小児救急医療体制

- 場所：救急センター 第1診察室
 - 日時：毎週日曜日 午後6時～午後9時
- ※現在、横手市医師会の先生方のご協力をいただいて、診療をしております。



がんに関する医療相談室

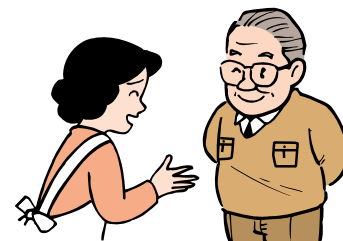
- 場所：1階医療相談室（喫茶ひらかの裏側）
- 受付時間：午前8時30分～午後5時（月・火・木）
- 相談方法：来訪による対面相談

電話相談／0182-32-5121 内線2145

※あなたの秘密を守り、あなたご自身の気持ちを大切に、そしてあなたと一緒に考える相談員・看護師も、病院スタッフと連携をとりながら頑張っています。また、緩和ケア医療病床を設置しております。

ボランティア活動

現在、病院OB総勢20名以上の方のご協力をいただいております。役割として総合案内、車椅子にての患者様の移動、再来機利用の説明、場所案内等、病院を支えていただいております。



開放病床（共同利用ベッド）を設け、病診連携の強化を図ってまいります。（8階もり病棟に4床、6階はな病棟に2床）

次号はそれぞれの部門など紹介していきたいと思っております。